庁政運営の指針となる について

- 2次愛荘町総合計画を定義した プロセスは と策定
- は町の最上位計画で、コンサルに全て 委託せず職員も積極的に参加した

第1次総合計画が29年度で終定することを意味し、本町は村自らが策定の要否を意思決 ジョンを定めるものとし、ま視点に立ったまちづくりのビー 本理念などを示す、 になったのではなく、 答 位置づけを聞きたい

策定する必要があると判断しの、まちづくりの指針としてを、将来における町のあるべを、将来における町のあるべ 基本構想はまちづ 以期的な、りの基

隆議員

ついて 第2次愛荘町総合計画に

の中で、 おける基本構想や基本計画の 成したのか、 改正され、 られていたが、 れたにもかかわらず、 村に対して、 問 方自治法により市区町 基本構想は、 地方自治法の一部が 平成23年に廃止さ 策定が義務付け また総合計画に 地方分権改革 かつて地 なぜ作

このままでは、

基本構想の策定が不要

市区町

(企画政策監)

様化、 ズ対応していく事が求められ に創意工夫したのか。 問 策定にあたり、 複雑化する住民のニー 社会情勢や経済状況も 急速に変化する中、 どの様 多

(企画政策監)

答

に立ち、 次総合計画を推進していく。実効性が担保できるよう第2 配分との整合を図り、 意識した。 職員自らがつくるという点を ンサル業者にすべて委託する計画策定にあたっては、コ ではなく、 予算、 また、 出来る部分的は 人事等の資源 経営的視点 計画の 原則とする」旨の方針を打ち最低1競技を開催することを定は、「全ての市町において

答

(町長)

滋賀県では競技の会場地選

長期的

0

本計画は基本構想に掲げるま

の施策を具体化するもりの基本目標を実現す

画では、基本構のとしており、 計画の2層構造で構成して る。 2層構造で構成してい、基本構想および基本ており、第2次総合計

問 策定作業を進めたか。 どのようなプロセスで

功へ導き、当町の観光と町全体で大会を盛りと

上げ成

当町の観光と産業

をアピールすることが重要で

グラウ

ンドに内定された。

愛荘町スポー

É

ンタ

一秦荘

ー競技での選定甲請を行

(企画政策監)

答

施し調査した「暮らしとまち 策の基本的方向を検討した。査」から、取り組むべき各施 から、取くりに対さ 次総合計画の評価を実 する町民意識調

か。 に盛り り盛り上がるのではないか。柔道なら住民への浸透力もあ 武道が盛んで、 技が浸透しないとなれば、早 ってしまう。当町は伝統的に めに県にお返しされればと思 くる。住民にア も高まらず、 当町は、 上げようとしているの 滋賀国体をどの様 財政負担も出て とりわけ剣道 ーチェリ

いのか。 答

される。「国スポ」へ名称変更国体から「国スポ」へ名称変更法が制定され、長年親しまれた会」に改める改正スポーツ基本会」にから「国民スポーツ大23年から「国民スポーツ大 国民体育 大会 の名称を2

伝統と文化 (大祭) 継承問題について

若者の減少により、伝統と文化の 継承が難しいのではないか

人や仕組みを新たに包含し盛り立ててほしい

後5年、10 か。また、 れる。 か。また、このままですと今もらえるのではないでしょう 全体の人口は若干増加 を続けることが難しい ことが町民の方々に理解して ことに力を入れているという 行政もこの文化を守っていく 割程度を伝統と文化を守って 料館の年間予算の ておりますが、 答 いる地域に振り分けることで 新興 (町長) 10年後でも同じこと から、 と思わ

化が続く中で、地域のお祭りき家が増加するなど少子高齢 住宅地の開発により た若者が 右者が減少して地域のお祭り 旧集落では空 より町

> ている。
> とい状況もあることは理解い来と同様の実施がなかなか難 町内には、 その中でも、 様々な地域の

域でも存続が危ぶまれていまである地域での祭りがどの地

者の減少により昔からの伝統

っておられましたが、

今、

若

していく」と町長は言 「伝統と文化を大切に

統を守ろうと地域の役員様、 りますことに敬意を申し上げ

るのではないでしょうか。

各

に何らかの力になる必要があ す。そこで行政でもこの事態

地域によってその内容は違い

にマッ る。 も伺っていますし、 てくださって 町内 いただいて にお ては、

をいただいている字もある。行い、継続して取り組む努力前中で終えるなどの見直しを し、次世代こうこで地域の伝統と文化を大切に地域の伝統と文化を大切に 年 に 1 を新たに包含していくことな 力の発信も含め、 とは重要なことであり、培わし、次世代につなげていくこ ちろん大事にしながらも、 れたこれまでのしきたりをも 継続して取り組む努力 終えるなどの見直しを 度の開催にしたり、 祭りを守り 人や仕組み 午 魅

きている。 お

澤田 源宏議員

住民様がご奮闘いただいてお 長く続いた伝

また、 お祭りではないです

堅井之大宮 春の大祭

チしたあり方を模索し いる字もあると いる地域もあ より時代 例えば、

ますが、

何らかの手を打つ必

ますので難し

い問題だと思い

要がある。

そこで、

例えば歴史文化資

字の運動会や文化祭を2

りがたい り立てていただければ大変あ また、

このことに歴史資料

とは今のところ考えていない。 館の予算の一部を充当するこ

神輿を担ぎ、お祭りに参画し町内立地の企業の社員の方が る。

る国民体育大会について 2024年滋賀県で開催す

開催ノウ

ハウのあるア この方針

チ

した。

を受け

てが負担過多になる。 た職員の負担は数知れず、の事柄は町の負担となり、 %の補助とは している。 が高まっていないことに危惧 りも心配なのが、 住民のニーズも変わり、 約40年前に開催しノウハウは あるとはいえ職員の気構えも #前に引ゅっている。 技の会場となっている。 また国体は100 いえ、 国体の気運 知れず、全となり、ま、その周辺 何よ

国体の気運 . 競 の開催に向けて、今後(仮ェリー競技を住民との協働でま者スポーツ大会」のアーチ害者スポーツ大会」のアーチの場所である。そこで、「第79回国民 新、17 mm がイドラインの検討と啓発方称)国スポ開催準備室を設けの開催に向けて、今後(仮 法など協議していく。 中央スポーツが川久保地先の野

・チェリー会場は使用 公愛 し 園 荘 なの 町

(生涯学習課課